

「福岡クルーズ会議」開催報告

福岡市港湾局は、平成26年1月22日（水）、福岡国際会議場にて、「福岡クルーズ会議」を開催いたしました。アジア・クルーズ協会と共催で開催したこの会議では、急速な拡大を続けるアジア・クルーズ市場の実態と展望について調査した「アジア・クルーズ産業白書」を元に、アジア・クルーズ協会会長であるジナン・リウ氏より、アジア・クルーズ市場の現状及び市場動向について報告されました。



左から 九州クルーズ振興協議会 田中会長, カーニバル・ジャパン大阪営業所 泉所長, ロイヤル・カリビアン・クルーズ ジアン・フェン・トン氏, ロイヤル・カリビアン・クルーズ ジナン・リウ氏, 福岡市 高島市長, コスタ・クルーズ ブディ・ボック氏, コスタ・クルーズ ヘレン・ファン氏, 国土交通省 大脇技術参事官

会議には船社の他、旅行会社、港湾関係者など約250名が参加しました。特に全国クルーズ活性化会議会員である港湾管理者は、北は北海道、南は沖縄まで、全国から多数参加していただきました。

まず、福岡市長から、全国クルーズ活性化会議の取り組みや福岡市（博多港）でのクルーズ客船受入の取り組みについて紹介しました。全国99自治体等が会員となっている全国クルーズ活性化会議での取り組みとして、関係機関への要望活動や、オールジャパンでのプロモーションの様子を、博多港のクルーズ客船受入状況と合わせて紹介しました。



福岡市長によるプレゼンテーション

引き続き、来賓代表として、国土交通省大臣官房技術参事官 大脇 崇氏及び九州クルーズ振興協議会会長 田中 浩二氏にご登壇いただきました。大脇参事官からは、「6月に観光立国推進閣僚会議で決定した「観光立国実現に向けたアクションプラン」の結果として、訪日外国人旅行者数が1,000万人を超えた」、「観光立国の実現に向けては、ソフト・ハード面でのクルーズの振興が不可欠であり、引き続きクルーズの振興を通じた地域の活性化に取り組んでいきたい」、田中会長からは、「昨年指定された「九州アジア観光アイランド総合特区」を契機とし、観光ガイドの不足の解消や免税手続きの簡素化、港湾施設の整備を進めることでクルーズ客船の寄港増加につながることを期待している」とご挨拶いただきました。

基調講演では、アジア・クルーズ協会会長を務めるロイヤル・カリビアン・クルーズ アジア地区副社長のジナン・リウ氏より、アジア・クルーズ産業白書の内容を基にした「アジア・クルーズ市場の展望」についてお話しいただきました。

「アジア・クルーズ市場は新しい市場であり、これからのクルーズ産業の将来を占うものである」とし、普及率から試算した場合の中国人・日本人をメインターゲットとしたアジア・クルーズの市場規模は、2020年に394万人と予想されると発表されました。ビジネスチャンスを取り込むため、各国の地方自治体は港湾施設整備を含めた受入環境整備に積極的に取り組んでおり、実際に韓国・済州島では中国人旅行者のビザ取得を不要としていることから、韓国寄港クルーズが増加している、という事例が紹介されました。



ジナン・リウ氏による基調講演

続く海外クルーズ船社発表では、コスタ・クルーズ、ロイヤル・カリビアン・クルーズの2社から、クルーズ船社として日本の港湾整備に望むものについてお話しいただきました。コスタ・クルーズアジア太平洋地区上級副社長 ブディ・ボック氏からは、船社として、大型船が入港できる港湾整備、ビザ申請の簡素化や出入国手続きの改善についての要望とともに、発着クルーズを実施する博多港等は、乗船客のための快適な待合スペースと公共交通機関が必要だ、とのコメントがありました。



船社発表 (ブディ・ボック氏)

ロイヤル・カリビアン・クルーズ アジア地区副支社長ジアン・フェン・トン氏は、クルーズ市場の中で、客船の大型化が進んでおり、アジア地区についても大型化に対応するインフラ整備が必要である、ロイヤル・カリビアン社が所有する世界最大の客船「オアシス・オブザ・シーズ」級が寄港できるように、準備しなければならないとし、各国の港湾整備状況を紹介したうえで、日本の各港湾でどのような施設整備が今後必要か、具体的に指摘し、戦略的な投資について要望されました。



船社発表（ジアン・フェン・トン氏）



船社発表（泉 隆太郎氏）

最後に、カーニバル・ジャパンから、大阪営業所長の泉所長に登壇いただきました。日本市場で注目が高まっているプリンセス・クルーズの2014年日本発着クルーズについて、その魅力をご紹介いただきました。旅行代理店・港湾関係者ともに関心の高いこの日本発着クルーズについても、これまでの発表と同様、活発な質疑応答が行われました。様々なテーマでコースが組まれているなかでも、特に沖縄 南西諸島クルーズやお祭りクルーズなどが人気である、と紹介されました。

【参考：当日プログラム（14:15 開始、17:30 終了）】

14:15-14:25 主催者あいさつ 「福岡市のクルーズ振興について」

福岡市長 高島 宗一郎 Soichiro Takashima, Mayor of Fukuoka City

14:25-14:35 来賓あいさつ

国土交通省大臣官房技術参事官 大脇 崇氏

九州クルーズ振興協議会会長 田中 浩二氏

14:35-15:05 基調講演「アジアクルーズ市場の展望」

アジアクルーズ協会会長 ジナン・リウ氏

15:30-17:30 海外クルーズ船社発表

① 「クルーズ船社が日本の港湾へ望むこと」

コスタ・クルーズ アジア太平洋地区上級副社長 ブディ・ボック氏

② 「クルーズ船社が日本の港湾へ望むこと」

ロイヤル・カリビアン・クルーズ アジア地区副支社長 ジアン・フェン・トン氏

③ 「プリンセスクルーズ日本発着 2014」

株式会社カーニバル・ジャパン 泉 隆太郎氏

問い合わせ先： 福岡市港湾局港湾振興部振興課
電話：092-282-7177 FAX：092-282-7772

Email: shinko.PHB@city.fukuoka.lg.jp